

平成 26 年 度

所 報



栃木県総合教育センター

目 次

1	運営の基本方針・センターの概要	1
	(1) 運営の基本方針	1
	(2) センターの概要	1
2	予算概要	2
3	事業	3
	(1) 研修事業	3
	(2) 学習機会提供	14
	(3) 学習相談・情報提供	15
	(4) 調査研究事業	17
	(5) 教育相談事業	19
	(6) 幼児教育センター事業	21
	(7) 資料・情報の収集提供事業	23
	(8) 研究・学習活動支援事業	24
	(9) 教育充実振興事業	27
	(10) 内地留学生研修実施状況	29
	(11) 加盟期間としての事業活動	30
4	職員等一覧	31
5	施設の利用状況	32
6	講師一覧	33

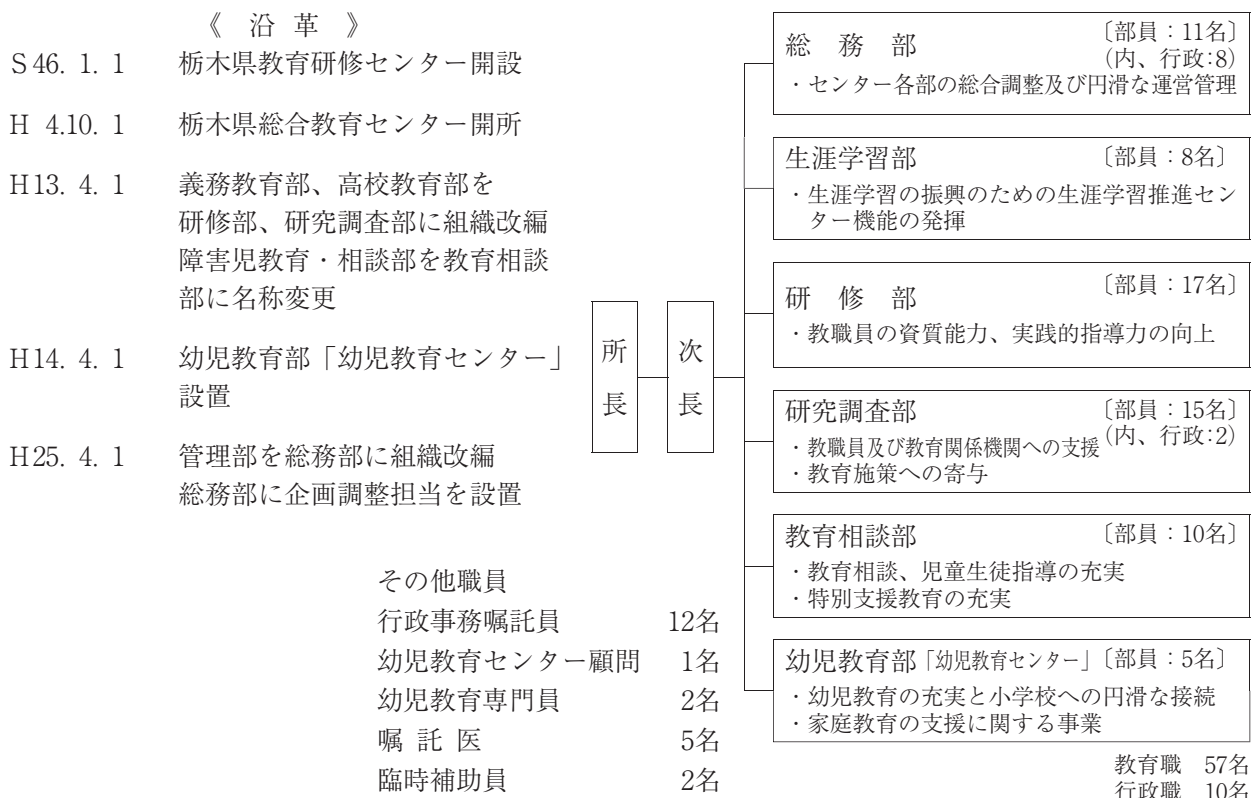
1 運営の基本方針・センターの概要

(1) 運営の基本方針

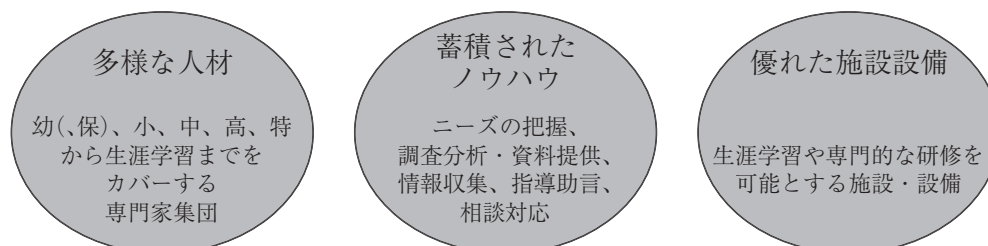
教職員研修、教育に関する調査研究、教育相談及び幼児教育の充実並びに県民の生涯学習活動への支援を推進し、もって学校教育及び生涯学習の振興に資する。

(2) センターの概要

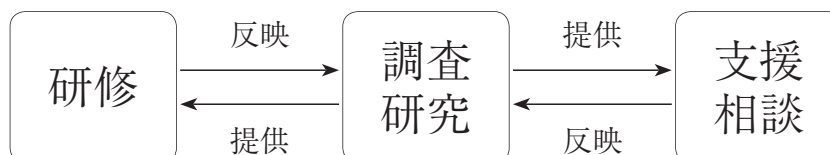
(ア) 組織と目的



(イ) 総合教育センターの特長



- ・本庁と現場、双方の現状把握が可能な立場を生かした事業展開
- ・研修の一元化によるリソースの有効活用
- ・所内の有機的、円滑な連携により、多角的検討、スピーディな対応、多面的な展開



2 予算概要

(単位：千円)

事業名	平成25年度 予算額 A	平成26年度 予算額 B	対前年比 $B \div A \times 100$	備考
総合教育センター運営費	125,788	125,847	100.0%	
総合教育センター事業費	16,903	16,561	98.0%	
初任者研修事業費	6,508	6,170	94.8%	
教職員研修費	4,997	4,536	90.8%	
調査研究費	3,163	3,639	115.0%	
教育相談事業費	450	420	93.3%	
教育充実振興費	1,785	1,796	100.6%	
教育調査統計費	1,285	1,151	89.6%	
事務局運営（営繕）費	1,050	1,488	141.7%	
総務課計	143,976	143,559	99.7%	（事務局運営（営繕）費除く）
幼児教育センター事業費	2,271	2,268	99.9%	
学校教育課計	2,271	2,268	99.9%	
指導者研修費	746	686	92.0%	
総合教育センター生涯学習研修費	746	686	92.0%	
生涯学習振興事業費	14,173	17,650	124.5%	
生涯学習推進事業費	110	101	91.8%	
家庭教育支援事業費	13,561	14,277	105.3%	
生涯学習ボランティア活動促進事業費	314	289	92.0%	
新とちぎ学びかがやきプラン推進事業費	188	227	120.7%	
とちぎの子どもの未来創造大学推進事業費	-	2,756	-	
生涯学習情報提供システム整備事業費	1,590	1,618	101.8%	
生涯学習情報提供システム運営費	1,590	1,618	101.8%	
地域教育総合推進事業費	1,081	1,102	101.9%	
地域教育総合推進事業	856	877	102.5%	
放課後子ども教室推進事業費	225	225	100.0%	
地域防災教育推進事業費	84	0	0.0%	
生涯学習課計	17,674	21,056	119.1%	
環境学習・環境保全活動推進費	140	143	102.1%	地球温暖化対策課
合計	164,061	167,026	101.8%	
総合計	165,111	168,514	102.1%	（事務局運営（営繕）費含む）

3 事 業

(1) 研修事業

ア 教員関係職員研修 基本研修

番号	事 業 名	研 修 内 容	日数	計 画		実 績	
				実人員	延人員	実人員	延人員
1	初 任 者 研 修 (小・中学校)	・教職員への期待 ・教職員の服務 ・児童・生徒指導 ・学習指導、学習評価 ・学級経営 ・道徳教育 ・特別活動 ・課題研究 ・特別支援教育 ・総合的な学習の時間 ・福祉教育の理解 ・社会福祉施設における研修	21	365	7,665	335	6,988
2	初 任 者 研 修 (高校・特別支援学校)	・教職員への期待 ・教職員の服務 ・児童・生徒指導 ・学習指導と評価、教科指導法 ・教育の情報化 ・カウンセリングの基礎 ・人権教育 ・特別支援教育の理解・現状 ・特別活動の指導 ・中学校教育の理解 ・障害の理解と教育 ・個別の指導計画 ・保護者との連携 ・教職員評価制度	21	94	1,974	90	1,874
3	新規採用養護教諭研修	・教職員への期待 ・教職員の服務 ・児童・生徒指導 ・健康診断と事後措置 ・保健室経営について ・感染症の予防と管理 ・学校保健行政と養護教諭 ・学校における安全教育の充実 ・学校環境・衛生活動における諸検査 ・性に関する指導、薬物乱用防止教育 ・健康観察及び健康相談 ・特別支援教育の理解 ・教育関係法規 ・人権教育の実践	14	23	322	22	301
4	新 規 採 用 学 校 栄 養 職 員 研 修	・教職員への期待 ・教職員の服務 ・児童・生徒指導の在り方 ・人権教育 ・新規採用学校栄養職員に望むこと ・学校給食の役割 ・食に関する指導について ・調理従事者への衛生管理指導 ・いじめや不登校の早期解決と予防 ・学校職員の服務と勤務 ・学校給食管理と給食業務 ・共同調理場の管理・運営	10	1	10	1	10
5	新規採用事務職員研修 (小・中学校)	・教職員への期待 ・教職員の服務 ・児童・生徒指導の在り方 ・教職員の給与制度・給料・昇給・諸調査 ・給与・旅費の実務 ・義務教育費国庫負担法 ・接遇 ・学校事務における情報化への対応 ・学校職員の服務と勤務	7	19	133	19	132

番号	事業名	研修内容	日数	計画		実績	
				実人員	延人員	実人員	延人員
6	教職2～5年目研修 〔2年目〕 (小・中学校)	・学校における児童生徒の理解 ・自主研修計画の発表	1	245	245	245	245
7	教職2～5年目研修 〔5年目〕 (小・中学校)	・5年目教員への期待 ・人権感覚を磨く教育活動の展開 ・望ましい学級経営の在り方 ・教科指導の在り方 ・望ましい道徳の時間の取組	3	165	330	161	326
8	教職2～5年目研修 〔2年目〕 (高校・特別支援学校)	・発達障害の理解と支援の在り方 ・生徒指導上の諸問題 ・自主研修計画の発表 ・学習指導、児童・生徒指導の充実に向けて	1	80	80	80	79
9	教職2～5年目研修 〔5年目〕 (高校・特別支援学校)	・5年目教職員への期待 ・学級・ホームルーム経営の実際 ・発達障害の理解 ・教科指導の在り方 ・人権感覚を磨く教育活動の展開	3	62	186	62	180
10	養護教諭2～5年目研修 〔2年目〕	・メンタルヘルスの理解と対応 ・自主研修計画の発表	1	15	15	15	15
11	養護教諭2～5年目研修 〔5年目〕	・5年目教職員への期待 ・人権感覚を磨く教育活動の展開 ・学校における緊急時の対応 ・保健室経営の課題と対応	3	15	45	15	44
12	養護教諭5年目研修	・人権感覚を磨く教育活動の展開 ・学校における緊急時の対応 ・保健室経営の課題と対応	4	15	60	15	53
13	学校栄養職員 2～5年目研修 〔2年目〕	・2年目学校栄養職員への期待 ・学校給食の栄養管理・衛生管理について ・自主研修計画の発表	1	6	6	6	6
14	学校栄養職員5年目研修	・5年目学校栄養職員求められるもの ・学校給食管理の現状と課題 ・人権感覚を磨く教育活動の展開 ・子どもの心理とカウンセリング ・共同調理場の管理・運営 ・衛生管理の実際	4	4	16	4	13
15	事務職員5年目研修	・人権感覚を磨く教育活動の展開 ・5年目の事務職員に求められるもの ・教職員の服務 ・給与に関する実務 ・情報化への対応	3	27	81	27	81
16	教職10年目研修 (小・中学校)	・10年目教職員への期待 ・発達障害のある幼児児童生徒への支援 ・今、求められる学習指導の在り方 ・公開授業 ・人権を尊重した教育活動の展開 ・児童・生徒指導、学級経営 ・教員のためのメンタルヘルス	10	158	1,580	158	1,566
17	教職10年目研修 (高校・特別支援学校)	・10年目教職員への期待 ・発達障害のある生徒への支援 ・教科指導の工夫・改善 ・学習指導の工夫・改善 ・公開授業 ・児童・生徒指導の意義とその在り方 ・児童・生徒指導に関するコース別研修	10	74	740	73	726
18	養護教諭10年目研修	・10年目教職員への期待 ・保健室経営 ・健康相談 ・健康の保持増進と健康教育 ・保健指導・保健学習の進め方 ・効果的な保健だよりの作成 ・情報化への対応	8	15	120	15	114

番号	事業名	研修内容	日数	計画		実績	
				実人員	延人員	実人員	延人員
19	学校栄養職員10年目研修	・10年目教職員への期待 ・発達障害のある幼児児童生徒への支援 ・人権教育の推進 ・学校栄養職員の職務と課題 ・課題研究	8	3	24	3	24
20	教職20年目研修 (小・中学校)	・20年目教職員への期待 ・学校における人権教育 ・本県の義務教育の現状と課題 ・教職員のメンタルヘルス ・学校組織マネジメント	4	141	564	140	549
21	教職20年目研修 (高校・特別支援学校)	・20年目教職員への期待 ・特別支援教育の推進 ・本県高校教育の課題と今後の方向性 ・本県特別支援教育の課題と今後の方向性 ・ミドルリーダーの役割と自分の強み	4	90	360	89	352
基本研修計				1,617	14,556	1,575	13,678

専門研修1ア

番号	事業名	研修内容	日数	計画		実績	
				実人員	延人員	実人員	延人員
1	新任免許外教科担任研修 (中学校)	・各教科における指導の基礎・基本 ・評価の在り方	2	51	102	51	98
2	産業教育基礎技術研修	(農業科) ・農業の適正使用について ・土壌中の硝酸態窒素の分析 ・放射性物質の測定と放射性物質対策に関する試験研究 (工業科) ・金属加工の指導法 ・電気工事の指導法	2	12	24	12	24
3	理科・基礎実験研修 (高等学校)	・物理分野の基礎的実験の指導法 ・化学分野の基礎的実験の指導法 ・生物分野の基礎的実験の指導法	3	14	42	14	40
4	ネクストステージ研修	・これからの教職員に求められるもの ・本県の学校教育に求められるもの ・とちぎ教育振興ビジョンの理解 ・学校組織マネジメント	6	48	288	48	282
5	英語授業力向上研修(中)	・現在の授業を振り返って ・学習到達目標の設定及び活用について考える ・ディベート・スピーチ活動について考える	2	54	108	54	103
6	英語授業力向上研修(高)	・新学習指導要領に基づく授業の在り方 ・マイクロティーチング ・「英語で行う授業」について考える	2	30	60	30	59
7	校内支援体制研修	・児童生徒支援の考え方 ・コーディネーターの役割と資質 ・コーディネーションの考え方・進め方 ・校内支援体制の充実を目指して	4	103	412	103	401

番号	事業名	研修内容	日数	計画		実績	
				実人員	延人員	実人員	延人員
8	教育相談指導者養成研修 (高等学校)	・教育相談の現状と課題 ・学校におけるチーム支援 ・カウンセリング演習(1)(2) ・教育相談と危機管理 ・カウンセリングマインド ・カウンセリング演習の進め方 ・コンサルテーションの考え方・進め方	6	12	72	12	70
9	特別支援学級等 新任教員研修	・特別支援学級・通級指導教室の教育の基本 ・特別支援学級・通級指導教室の教育課程 ・保護者理解の基本 ・特別支援学級・通級指導教室の経営 ・個別の指導計画の作成と活用の考え方 ・障害のある子どもの福祉制度	5	116	580	116	550
10	特別支援学級等 実践研修	・特別支援学級・通級指導教室の現状と課題 ・子どものうまくいっているところに着目した指導(1)(2) ・「各教科等を合わせた指導」の意義を踏まえた指導の実践 ・「自立活動」の視点を明確にした指導の実践	4	32	128	32	122
11	新任特別支援教育 コーディネーター研修 (小・中学校)	・小学校における特別支援教育～通常の学級における支援が必要な児童の指導に焦点を当てて～ ・中学校における特別支援教育～通常の学級における支援が必要な生徒の指導に焦点を当てて～	2	103	206	103	197
12	特別支援教育推進者研修 (高等学校)	・高等学校における特別支援教育 ・コーディネーションの進め方 ・支援が必要な生徒の理解と対応	2	16	32	16	31
13	特別支援学校 新任教員研修	・本県における特別支援教育の現状と課題 ・特別支援学校における教育について ・障害のある児童生徒の理解と支援	2	21	42	21	39
14	職業教育指導力向上研修	・本県における職業教育の推進 ・職業教育の充実に向けて ・就労支援の実践	3	13	39	13	39
15	自立活動指導者研修	・障害のとりえ方と自立活動 ・自立活動における個別の指導計画に基づく指導と評価 ・自立活動の指導充実をめざした取組の実践	3	15	45	15	45
16	合同研修 (幼・保・小)	・一人一人と集団を育てる～特別支援教育の視点を生かして～ ・一人一人に応じた指導 ・集団の中で生かす指導	1	377	377	377	377
17	幼稚園・保育所 小学校教職員相互 職場体験研修	・研修の概要について ・幼児期から児童期への教育	3	97	291	97	291
専門研修1ア 計				1,114	2,848	1,114	2,768

専門研修 1 イ

番号	事業名	研修内容	日数	計画		実績	
				実人員	延人員	実人員	延人員
1	校長研修 (小・中学校)	・教職員評価制度について ・教職員のサービスの厳正について ・マネジメントを生かした学校経営	1	532	532	532	530
2	校長研修 (高校・特別支援学校)	・教職員評価制度について ・マネジメントを生かした学校経営	1	74	74	74	70
3	新任校長研修 (小・中学校)	・新任校長への期待 ・人権教育と校長の役割 ・学校経営に関する諸問題 ・特別支援教育における校長の役割	2	81	162	81	161
4	新任校長研修 (高校・特別支援学校)	・新任校長への期待 ・人権教育と校長の役割 ・校長の使命と職務 ・学校経営に関する諸問題	2	25	50	25	50
5	学校経営研修 (小・中学校)	・教職員評価制度について ・学校力の向上 ・教職員のメンタルヘルスケア	3	137	411	137	407
6	教頭 2 年目研修 (高校・特別支援学校)	・教職員評価制度を活用した人材育成 ・学校評価を活用した組織の活性化 ・学校の財務 ・教職員のメンタルヘルスケア	3	20	60	20	59
7	新任教頭研修 (小・中学校)	・新任教頭への期待 ・教職員評価制度について ・人権教育の推進と教頭の役割 ・特別支援教育における教頭の役割 ・教頭に求められる資質・能力	4	118	472	118	467
8	新任教頭研修 (高校・特別支援学校)	・新任教頭への期待 ・学校における組織マネジメント ・人権教育の推進と教頭の役割	4	38	152	38	145
9	新任主幹教諭研修 (小・中学校)	・主幹教諭への期待 ・求められる主幹教諭像	2	22	44	22	43
10	新任主幹教諭研修 (高校・特別支援学校)	・主幹教諭への期待 ・校長が期待する主幹教諭像	2	29	58	29	56
11	新任教務主任研修 (小・中学校)	・新任教務主任への期待 ・教務主任の職務とその実際 ・学校組織マネジメント ・カリキュラムマネジメント	2	115	230	115	224
12	新任教務主任研修 (高校・特別支援学校)	・教務主任の職務 ・執務上の課題 ・特別支援教育の概要	3	31	93	31	90
13	新任学年主任研修 (高校)	・学年主任の職務 ・本校における学年経営	1	45	45	45	45
14	新任学習指導主任研修 (小・中学校)	・学習指導主任に求められるもの ・本県の学習指導の現状と課題 ・学習指導主任の職務と実際	1	135	135	135	135
15	新任学習指導主任研修 (高校・特別支援学校)	・学習指導の現状と課題 ・確かな学力の育成に向けた新たな方策 ・学習指導の充実に向けて	1	28	28	28	28

番号	事業名	研修内容	日数	計画		実績	
				実人員	延人員	実人員	延人員
16	新任児童指導主任研修 (小学校)	・児童・生徒指導の意義と職務 ・児童・生徒指導上の問題への対応	1	68	68	68	68
17	新任生徒指導主事研修 (中学校)	・児童・生徒指導の意義と職務 ・児童・生徒指導上の問題への対応	1	25	25	25	25
18	新任生徒指導主事研修 (高校・特別支援学校)	・児童・生徒指導の意義と生徒指導主事の役割 ・生徒指導上の課題と取組 ・不登校の理解と支援	2	21	42	21	42
19	新任進路指導主事研修 (中学校)	・進路指導の意義 ・進路指導主事の職務	1	35	35	35	35
20	新任進路指導主事研修 (高校・特別支援学校)	・キャリア教育の推進に向けて ・進路指導主事としての実践	1	24	24	24	24
21	新任栄養教諭研修	・栄養教諭の服務 ・栄養教諭の職務 ・学習指導 ・健康の保持増進と健康教育 ・栄養教諭・学校栄養職員に期待すること ・本校の食に関する指導について	5	10	50	10	50
22	新任道德教育推進 教師等研修	・道德教育の充実と指導体制の確立に向けて ・道德教育推進教師の職務と実際 ・教育活動全体で取り組む道德教育について	1	220	220	215	215
23	人権教育指導者 専門研修	・本県の人権教育の在り方 ・集会所における事業の推進と課題 ・人権教育の視点 ・現地研修	6	24	144	24	143
24	新任補佐級事務長研修 (小・中学校)	・学校管理運営上の諸問題と教育関係法規 ・事務職員のためのメンタルヘルス ・学校組織マネジメントの理解と実践	1	20	20	20	20
25	新任係長級事務長研修 (小・中学校)	・学校管理運営上の諸問題と教育関係法規 ・本県の実施策 ・事務長の役割と責任 ・学校管理運営上の課題 ・新任事務長への期待	2	18	36	18	36
26	新任係長級 学校栄養職員研修	・共同調理場の管理・運営 ・衛生管理の実際 ・学校給食を生きた教材とするために ・係長級学校栄養職員としての役割	2	7	14	7	14
専門研修1イ 計				1,902	3,224	1,897	3,182

専門研修2

番号	事業名	研修内容	日数	計画		実績		
				実人員	延人員	実人員	延人員	
1	学校図書館研修	・これからの学校図書館の在り方 ・学習活動を支える学校図書館	1	100	100	48	48	
2	教科等専門研修	国語専門研修 外18講座	1×17 2×1	506	526	528	548	
3	小学校理科観察実験研修 (初級)	・火の扱い、危険防止について ・気体の発生について ・理科室経営について	1	30	30	22	22	
4	小学校理科観察実験研修 (中級)	・おもりを使った実験 ・気体検知管の活用 ・理科室の経営について	1×2	60	60	26	25	
5	産業教育専門研修	(農・工・商・家共通) ・本県産業の特色と課題 ・本県産業と求められる人材 ・これからの専門学科の連携の在り方 (農業科) ・農業教育の現状と課題 ・果樹の剪定について (工業科) ・工業教育の現状と課題 ・先端実習施設の活用 ・工業科教員の資質向上への取組	(商業科) ・新学習指導要領に対応した原価計算の指導法 (家庭科) ・消費者教育の推進 ・消費者トラブルの発生状況とその対処法 他	2	34	68	34	61
6	環境学習プログラム研修	・新しい環境教育の展開 ・実習「環境学習プログラム」	3	30	90	14	42	
7	実習助手研修	・教職員への期待 ・教職員の服務 ・実習助手の職務	・人権教育 ・各分野に分かれての講話・実習	2 (4)	46	108	46	105
8	ICT活用研修 〔エクセル入門〕	・エクセルの基礎 ・校務に活かすエクセル活用法	1×2	58	58	58	58	
9	ICT活用研修 〔エクセルマクロ〕	・エクセルマクロの基礎 ・エクセルマクロの活用	2	35	70	35	68	
10	ICT活用研修 〔パワーポイント入門〕	・パワーポイントの基本操作 ・パワーポイントで教材開発	1	35	35	34	34	
11	ICT活用研修 〔動画編集〕	・動画編集の基礎 ・動画編集による教材作成	1	31	31	31	31	
12	ICT活用研修 〔学校ホームページ構築〕	・NetCommonsの基本操作 ・運用管理	・各種モジュールの設定方法	2	24	48	24	45
13	ICT活用研修 〔書画カメラ・電子黒板の活用〕	・書画カメラ・電子黒板の基本操作 ・書画カメラ・電子黒板の授業への活用	1	26	26	26	26	
14	校内研修 ステップアップ講座	・校内研修の活性化に向けて～授業研究の在り方～ ・模擬「授業研究会」 ・効果的な授業研究会の在り方 ・校内研修改善の視点	・校内研修の充実に向けた取組 ・効果的な校内研修に向けての取組 ・授業参観、授業研究会	2	40	80	22	44
15	教育相談 基礎研修	・学校における教育相談の役割 ・不登校の理解と対応 ・カウンセリング基礎演習(1)(2)(3) ・非行の理解と対応 ・いじめの理解と対応①	・いじめの理解と対応②(ネットいじめについて) ・発達障害の理解と対応 ・子どもの理解～心の発達の視点から～ ・事例研究	4	80	320	64	226
16	教育相談課題研修 〔いじめの理解と対応〕	・いじめの現状 ・研究協議「いじめへの対応」 ・いじめの理解と対応	1	60	60	28	28	
17	教育相談課題研修 〔不登校の理解と対応〕	・不登校の理解と対応 ・事例研究会の進め方 ・事例研究(1)(2)(3)	2	42	84	32	64	

番号	事業名	研修内容	日数	計画		実績	
				実人員	延人員	実人員	延人員
18	教育相談実践研修 〔保護者との連携〕	・保護者との連携の在り方 ・保護者との面談 (1) (2)	1	80	80	37	36
19	障害のある子どもの 指導充実研修Ⅰ 〔知的障害〕	・障害のある子どもの教科指導と授業づくり ～国語、算数・数学の指導を中心に～	1	200	200	112	112
20	障害のある子どもの 指導充実研修Ⅱ 〔自立活動〕	・社会性・人間関係の発達と支援	1	200	200	160	160
21	障害のある子どもの 指導充実研修Ⅲ 〔重複障害〕	・障害の重い子どもとの教育的かかわりと授業づくり	1	75	75	67	67
22	障害のある子どもの 指導充実研修Ⅳ 〔授業改善〕	・授業の改善・充実のために ・障害のある子どもの授業づくりの実際 ・授業の充実を目指して (1) (2)	3	20	60	12	36
23	障害のある子どもの 指導充実研修Ⅴ 〔通級による指導〕	・通級指導教室担当者の役割 ・通級による指導の実際 (聴覚障害) ・通級による指導の実際 (言語障害) ・通級による指導の実際 (発達障害)	1	40	40	37	35
24	障害のある子どもの 指導充実研修Ⅵ 〔今日的課題〕	・知的障害のある子どものキャリア教育	1	200	200	95	95
25	発達障害のある子どもの 教育支援研修	・通常の学級における特別支援・発達障害のある子どもの理解 教育の充実と対応～通常の学級における ・中学校での支援の実際実践～ ・高等学校での支援の実際	1	120	120	94	91
26	早期教育相談担当者 基礎研修	・早期教育相談の基本的な視点 ・子どもの発達を支える教育相談の実際 (1) (2)	2	15	30	9	18
27	初心者のための 田中ビネー 知能検査Ⅴ研修	・田中ビネー知能検査Ⅴの概要 ・検査方法の実技	1×4	40	40	29	29
28	トップセミナー	・子ども・子育て支援新体制を踏まえた今後の園経営の在り方	1	30	30	18	18
29	特別支援教育研修	・一人一人と集団を育てる特別支援教育 ・幼稚園、保育所における特別支援教育 ・私のかかわりとその成果・課題	2	10	20	8	15
30	スキルアップセミナー	・幼児期の体づくり ・発達と学びをつなぐ要録の作成	1×2	10	10	7	7
専門研修2 計				2,277	2,899	1,757	2,194

専門研修3

事業名	研修内容	日数	計画		実績	
			実人員	延人員	実人員	延人員
とちぎの教育未来塾	「子どもたちの自己有用感を高めよう」外19講座	10	200	2,000	197	1,258
教職員サマーセミナー	「校内授業研究を中心とした学校改善」外9講座	1×10	300	300	301	301
環境学習プログラム 体験セミナー	実習「環境学習プログラム」	1×2	10	10	4	4
教科自主研修 (高校・特別支援学校)	教科指導に関する課題	随時	-	-	-	-
専門研修3 計			510	2,310	502	1,563
教育関係職員研修合計			7,420	25,837	6,845	23,385

イ 生涯学習関係研修

番号	事業名	研修内容	対象	日数	計画		実績	
					実人員	延人員	実人員	延人員
1	女性教育指導者研修	・地域活動を充実させるために ・リーダーに求められるスキルの習得 ・施設見学、グループ研究 等	〔推・公〕 県民	7	30	210	22	141
2	家庭教育オピニオン リーダー研修	・子どもたちの現状と家庭教育支援 ・カウンセリングマインドを生かした相談のあり方 ・フィールドワーク ・家庭教育支援事業の企画 等	〔推・公〕 県民	7	50	350	31	203
3	家庭教育支援プログラム指導者研修	・親学習プログラムコース	県民	4	70	280	52	199
		・思春期版プログラムコース	県民	2	70	140	64	71
4	生涯学習ボランティア研修	・私たちのボランティア活動 ・生涯学習社会のボランティア	社 教 県民	1	50	50	39	39
5	ウィークエンド 青少年セミナー	・地域活動の事例発表 ・レクリエーション・工作遊び体験 ・ボランティア活動事業の企画・立案・準備・実践 等	社 青少年 大学生 高校生	5	50	250	11	45
6	放課後子どもプラン 指導者研修	・放課後子どもプランの意義 ・指導に役立つスキルの取得 ・事例発表・研究協議・情報交換 等	社 教 県民	6	150	900	271	516
7	地域教育力活性化 指導者研修	・子どもとのかかわるボランティア活動の留意点 ・ボランティアが活躍する学校の声を聞く	社 教 県民	3	80	240	94	139
8	地域教育コーディネーター 養成セミナー	・地域の教育力向上のために期待される役割	社 研	1	300	300	228	228
9	生涯学習推進 初任者研修	・これからの生涯学習の役割と推進の在り方 ・生涯学習関係事業に生かすスキルアップ講座 等	社	3	100	300	65	145
10	生涯学習推進 セミナー	・教職員のためのパワーアップ講座	社 教 県民	1	30	30	22	23
11	人権教育指導者 専門研修	・現地研修・情報交換 ・人権に関するワークショップ ・共に生きる社会づくり 等	社 教	6	50	300	51	252
12	社会教育主事・ 社会教育関係職員等 実践フォーラム	・生涯学習社会における子どもの生きる力の育成 ・これからの社会教育や生涯学習の方向性 等	社 教	2	80	160	110	136
13	情報モラル指導者研修	・SNSを安心安全に使用するために ・情報化社会を安心して生きるために ・研究協議	社 教 県民	1	70	70	64	64
生涯学習関係研修合計					1,180	3,580	1,124	2,201

※社：県・市町社会教育関係職員 県民：一般県民 教：教職員 視：視聴覚ライブラリー職員 〔推・公〕：要推及び公募

ウ 幼児教育関係研修

幼稚園・保育所・小学校の教職員を対象とした合同研修や相互理解のための職場体験研修をはじめとして、幼稚園教育要領及び保育所保育指針に基づく研修や今日的な課題に対応した研修及び情報提供を実施し、幼児期における教育・保育の充実を図った。

番号	事業名	研修内容	対象	日数	計画		実績	
					実人員	延人員	実人員	延人員
1	合同研修 (幼・保・小)	・協議案提案 「一人一人と集団を育てる～特別支援教育の視点を生かして～」 ・グループ協議 「一人一人と集団を育てるために私にできること」	幼稚園・保育所：年長担当 小学校：1年担任	1	600	600	614	614
2	幼・保・小教職員 相互職場体験研修	・研修の概要について ・幼児期から児童期への教育 ・研修先との打合せ ・職場体験	幼・保・小教職員	第1日	194	194	194	194
				体験2	194	388	194	388
3	トップセミナー	・講話「子ども・子育て支援新制度を踏まえた今後の幼稚園・保育所経営の在り方」	幼稚園長、保育所施設長 小学校長、特別支援学校長	1	100	100	79	79
4	幼稚園・保育所等 パワーアップ セミナー	・講話「子ども・子育て支援新制度を踏まえた今後の子育て支援の在り方」 ・体験「親学習プログラム」 ・協議「地域に開かれた園づくり」 ・各園での実践研修	幼稚園長 保育所施設長 等	3	40	120	40	86
5	保育・教育課程 研究セミナー	・講話「教育要領・保育指針の趣旨」 ・研究協議及び発表 ・実践研修 研究協議の成果を生かした保育実践等	保育経験5年程度の 幼稚園・保育所教職員	3	80	240	68	203
6	特別支援教育研修	・講話「一人一人と集団を育てる特別支援教育」 ・講話「幼稚園・保育所における特別支援教育」 ・実践発表「幼稚園・保育所の取組」 ・実践報告「私のかかわりとその成果・課題」	幼稚園・保育所・小学校 特別支援学校教職員	2	100	200	63	120
7	スキルアップ セミナー	演習・実技を通した教育要領、保育指針の理解 ・幼児期の体づくり ・発達と学びをつなぐ要録の作成	幼稚園・保育所・小学校 特別支援学校教職員	1×2	200	200	172	172
8	新規採用幼稚園 教諭研修	・幼児期の教育、幼稚園教育とは ・一人一人を大切にすること ・幼稚園の安全管理 ・幼稚園教諭として ・保育観察・保育研究 ・幼児理解 ・指導計画の作成～明日の保育を考える～ ・日案の作成	新規採用幼稚園教諭等	4	200	800	208	774
9	幼稚園教職 10年経験者研修	・10年目教職員への期待 ・発達障害のある幼児児童生徒への支援 ・本県の義務教育の現状と課題 ・本県の幼児教育の現状と課題 ・組織マネジメント ・学校力を高める園内研修の在り方 ・協同する経験とは ・幼稚園における特別支援教育 ・子ども・子育て支援新制度を踏まえた今後の子育て支援の在り方 ・保育観察・保育研究 ・私の課題と解決策 等	教職経験11年目の教諭等	6	40	240	32	171
10	小・中学校の教職20 年目研修に講座開講	・幼児期から児童期へのよりよい接続のための指導の在り方	教職20年目の教員	1	30	30	40	40
幼児教育関係研修合計					1,778	3,112	1,704	2,841

(2) 学習機会提供

ア とちぎ県民カレッジ

登録講座（実施機関・講座数）168機関 ————— 1,693講座

ア 受講者 101,983人

イ 機関内訳 県関係機関（56機関）————— 670講座

各市町（16市町村）————— 352講座

大学等（27大学等）————— 671講座

ウ コース別講座数（内訳）

・健康・スポーツコース 181講座 ・能力・自己開発コース 792講座

・文化・教養コース 537講座 ・郷土理解コース 114講座

・地域活動コース 69講座

エ 学習歴累積希望登録者（2,282名）

オ 奨励証交付者（300単位 17名、200単位 36名、100単位 93名）

イ 公開講座「ライフアップセミナー」

講座名	内 容	期日	演 題	参加人数	会 場
公開講座 「ライフアップ セミナー」	総合教育センターが主催 する研修の中から、県民 の学習活動として活用 できる部分を広く一般に 公開し、幅広い学習機会 を提供した。	6/4 ～ 2/27 23回	・地域活動を充実させるために ・いつも心に人権感覚を ・もしもの時も落ち着いて～不審者か ら子どもを守る～ ・とちぎの魅力3 とちぎの「かみな り」 ・情報化社会を安心して生きるために ・これからの社会教育や生涯学習の方 向性 等	268人	総合教育 センター

ウ 公開講座「学びの杜の公開講座」

講座名	内 容	期 日	対 象	参加人数	会 場
公開講座 「学びの杜の 公開講座」	県民の方々の多様な学びを支援する ため、センターの施設・設備を生か した講座を実施した。	7/26 2/7	県民	390名	総合教育 センター

エ 開放講座「学びの杜～ふれる・つくる・考える～」

名 称	期日	対 象	内 容 等	参加人数
総合教育センター 開放事業 『学びの杜 ～ふれる・つくる・ 考える～』	12/20	子どもと親を はじめとする 県民	子どもの遊び（学習）活動の支援や、保護 者をはじめ大人の教育力の向上を目的とし て『ふれる、つくる、考える』の3つのジャ ンルの34の活動プログラムを実施した。	777人

オ 栃木県自作視聴覚教材コンクール

事 業 名	期 日	対 象	内 容 等	参加人数	会 場
第27回栃木県自作視聴 覚教材コンクール	予備審査 1/19 本審査 2/ 3 表彰式 2/25	一般県民	社会教育部門 8点 学校教育部門 3点	11人	総合教育 センター

(3) 学習相談・情報提供

ア 学習情報センター

- ① 栃木県学習情報提供システム（とちぎレインボーネット）
学習相談・情報提供システム

事業名	内 容 等	対 象	備 考
学 習 相 談 情 報 提 供	・県民のニーズにあった学習機会や指導者の紹介 ・面談・電話等による生涯学習相談 ・栃木県学習情報提供システム（とちぎレインボーネット）の運用及び活用 ・市町広報誌及び各種情報誌等の活用による情報提供 ・関係機関との連携 等	一般県民 生涯学習関係団体 生涯学習行政担当者 学校教育関係者等	http://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/

- ② アクセス件数

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
レインボーネットアクセス件	1,912	1,686	1,915	1,790	1,490	1,594	1,752	1,292	1,206	1,244	1,617	1,524	19,022

- ③ 学習相談件数

番号	区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	学 習 機 会	56	49	49	45	4	42	36	8	7	20	44	30	390
2	施 設	16	9	5	6	20	11	18	11	14	13	7	5	135
3	団体・グループ													
4	指 導 者	2						1						3
5	教 材	39	47	48	38	26	36	49	78	47	24	5	8	445
6	各 種 資 格				1									1
7	学習プログラム													
8	情 報 源	18	16	41	13	18	15	15	17	34	40	27	18	272
9	そ の 他	2												2
		133	121	143	103	68	104	119	114	102	97	83	61	1,248

イ 生涯学習ボランティアセンター（体験活動ボランティア活動支援センター）

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相 談 件 数	50	40	349	70	33	40	28	23	107	46	41	36	863
登 録 件 数	個人 673件 団体 322件												

ウ 視聴覚ライブラリー

① 視聴覚教材教具の整備、貸出内容

事業名	内 容	対象・方法等
視聴覚教材教具の整備、貸出	DVD, VHS, 16ミリフィルム等, 視聴覚教材教具の整備・貸出	各学校、社会教育関係団体サークル、行政機関等

② 視聴覚教材教具貸出件数

番号	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	D V D 等	45	40	48	19	15	29	30	63	26	17	1	5	338
2	教 具				1	2	3		2	1	2			11
		45	40	48	20	17	32	30	65	27	19	1	5	349

エ 図書資料室

① 図書資料等の提供状況

事業名	内 容	方 法
図書資料等の提供	教育・生涯学習に関する図書資料、教育資料、教育雑誌等の整備充実 レファレンス、貸出し	収集、整理、保管 及びその活用 相談・照会等に対する情報の提供

② 利用状況

番号	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	来 室 者 数	238	292	340	361	423	239	363	232	213	162	227	147	3,237
2	資料貸出・レファレンス	147	154	156	220	126	123	215	134	123	138	110	69	1,715

オ カリキュラムセンター

① カリキュラムに関する支援

事業名	内 容	対 象
カリキュラムに関する支援	カリキュラムに関する情報の収集・整理、情報発信等を行い、県内の各学校及びその他の各教育機関、県内の各教育関係団体における教育活動の支援を行った。	県内の各学校及びその他の各教育機関、県内の各教育関係団体

② 利用者数

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利 用 者 数	19	47	16	12	4	24	54	31	14	37	30	14	302

③ アクセス件数

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ホームページアクセス件数	6,409	11,308	12,468	15,754	11,004	10,538	11,451	9,571	7,316	9,362	11,521	5,123	121,825

(4) 調査研究事業

学校教育関係及び生涯学習関係各方面の要請や実情に基づき、学校教育の内容及び方法等及び生涯学習の在り方や支援の方法等の改善充実を図るため、各種の調査研究を実施した。

ア 基本方針

- ・教育行政上の基礎資料となる調査及び調査研究を行う。
- ・当面する教育課題を的確にとらえて、指導に役立つ調査研究を行う。
- ・生涯学習推進の基礎資料となる調査研究を行う。
- ・幼児教育や家庭教育に係る今日的な課題について調査研究を行う。
- ・他の教育機関における調査研究活動との連携を図る。

イ 事業内容

	研究主題及び主管部	研 究 内 容	期 間
1	思考力・判断力・表現力の育成に関する調査研究（小・中・高）1年次 ～思考力・判断力・表現力の捉え及び授業改善の在り方（研究調査部）	思考力・判断力・表現力の育成に関する現状やこれからの考え方（方向性）及びそれらに基づく授業実践について調査研究を行い、理論及び指導案モデル等を参考資料としてまとめ、関係学校等に配布した。	平成26年4月 ～ 平成27年3月 新規
2	高等学校における教科指導の充実（高） ～各教科における課題の解決を図る指導の工夫【指導と評価の一体化を図るために】（研究調査部）	地歴・公民科、外国語科、農業科、工業科、商業科の5教科を対象とし、指導上の課題を解決するための授業改善を目指し、研究協議や授業実践を通して、指導と評価を一体的に行うための工夫改善について研究した。教科ごとの指導資料を冊子としてまとめ、各学校に配布した。	継続
3	デジタル教材の開発と活用（幼・保・小・中・高・特） ～授業実践に役立つデジタル教材の収集、開発と活用～（研究調査部）	教員の授業力向上と児童生徒の学力向上に資するため、授業実践に役立つ教材や実践指導資料の開発及び収集を行い、総合教育センターのホームページ「教材研究のひろば」よりWeb発信した。	継続
4	栃木の子どもの学級と学習に関する調査研究（小・中・高）1年次 ～学業指導の現状把握及び、効果の検証に関する調査研究（研究調査部）	学習指導及び児童・生徒指導の充実を図るために、本県が推進してきた学業指導の現状を把握し、その効果について調査研究を行い、資料としてまとめ、関係学校等に配布した。	平成26年4月 ～ 平成27年3月 新規
5	学級・ホームルーム経営の充実に関する調査研究（小・中・高） ～若手教員のための学級・ホームルーム経営の手引作成（研究調査部）	若手教員が学級・ホームルーム経営を充実させるための手立てについての調査研究を行い、冊子としてまとめ、関係学校等に配布した。	平成26年4月 ～ 平成27年3月 新規
6	学校のICT活用事例に関する調査研究（小・中・高） ～確かな学力を育むための授業におけるICT活用事例集の作成（研究調査部）	とちぎ教育振興ビジョン（三期計画）のなかで児童生徒の情報活用能力を育成できるよう、教員のICT活用指導力の向上を図ることが示されている。この施策を展開するために授業のICT活用事例についての資料を作成し、関係学校等に配布した。	平成26年4月 ～ 平成27年3月 新規

	研究主題及び主管部	研 究 内 容	期 間
7	教育に関する各種統計調査 ～教育行政基礎資料の提供～ (研究調査部)	県及び国の教育に係る各種統計調査(県単6、文部科学省2、計8)を実施し、教育行政、教育施策の検討及び指導のための基礎資料を作成・配布した。 ○県単調査 ①中学校卒業者の進路状況調査 ②県立高等学校卒業者の進路状況調査 ③全日制高等学校生徒の他県との交流調査 ④公立学校教員構成調査 ⑤新年度児童・生徒数、学級数見込み調査 ⑥中学校3年生の進路希望調査 ○文部科学省調査 ⑦地方教育費調査(教育費調査・生涯学習関連費調査) ⑧子供の学習費調査	継続
8	地域連携が学校経営に与える効果に関する調査研究 (生涯学習部)	今回の調査では、学校経営に焦点を当て、地域と学校の連携が学校経営にどのような影響をもたらすのかについて調査分析し、連携によってもたらされる効果を明らかにすることによって、その意義や有効な進め方、在り方、課題などについて提言した。	平成26年4月 ～ 平成27年3月 新規
9	児童生徒支援に関する指導資料 (教育相談部)	適切な児童生徒支援のポイントや、実際の課題(いじめ、不登校、発達障害など)に即した事例をまとめた指導資料を作成した。	平成26年4月 ～ 平成27年3月 継続
10	初めて通級による指導を担当する先生のためのハンドブック (教育相談部)	初めて通級による指導を担当する教員に対して、通級指導教室の経営や指導上の配慮点をまとめた資料を作成した。	平成26年4月 ～ 平成27年3月 新規
11	特別支援学校(知的障害)における自立活動の指導 (教育相談部)	特別支援学校(知的障害)の通常の学級における自立活動の指導について、基本的な考え方や指導の具体例をまとめた指導資料を作成した。	平成26年4月 ～ 平成27年3月 新規
12	幼児期から大切にしたい学びに向かう集団づくり (幼児教育部)	子どもが、幼児期に遊びや生活を通して協同する経験を重ね、集団で学ぶ力の基礎を獲得し、小学校が、その学びの成果を引き継ぎ、さらに磨かれた集団へと高められるよう、幼児期から児童期にかけて、それぞれの時期に大切にしたい子どもの姿とそれを支える教師の関わりについてのリーフレットを作成した。	平成26年4月 ～ 平成27年3月 新規
13	学校の教育力の継承・共有 ～「先輩教師からのメッセージⅡ」の作成～ (総務部)	教職員の大量退職及び大量採用が続くなかで、後輩とりわけ若手教職員の資質向上が喫緊の課題となっている。そこで、先輩教職員が培ってきた長年の経験知を小冊子にまとめ、「初任者研修」「とちぎの教育未来塾」等の研修で活用することにより、若手教職員の育成に資するとともに、学校教育力の継承・共有を図る。	平成26年4月 ～ 平成27年3月 新規

(5) 教育相談事業

幼児児童生徒の健全な育成に資するため、障害や教育上の問題などの悩みを持つ幼児児童生徒及び保護者等に対して問題解決に向けた助言・援助を行った。

ア 来所相談

(ア) 教育相談実施回数（主訴別）

番号	主訴別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	家庭生活			(1) 1	(1) 1	(2) 4	(2) 5	(2) 7	(0) 5	(4) 9	(5) 15	(2) 16	(3) 15	(22) 78
2	集団生活	(3) 5	(3) 10	(3) 12	(8) 17	(6) 16	(5) 17	(10) 24	(4) 22	(3) 22	(4) 23	(7) 31	(6) 24	(62) 223
3	就学													
4	学習			(2) 2	(0) 1	(1) 2	(0) 2	(0) 3	(3) 4	(1) 5	(1) 5	(0) 4	(0) 4	(8) 32
5	進路													
6	その他			(1) 1		(0) 1			(0) 1			(0) 1	(0) 1	(1) 5
計		(3) 5	(3) 10	(7) 16	(9) 19	(9) 23	(7) 24	(12) 34	(7) 32	(8) 36	(10) 43	(9) 52	(9) 44	(93) 338
延べ来談者数		10	18	26	34	41	44	60	65	68	93	101	86	646

() 内は新規ケース数

(イ) 教育相談実施回数（状態別）

① 障害児の教育相談

番号	状態別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	視覚障害													
2	聴覚障害								(1) 3			(0) 1	(1) 2	(2) 6
3	知的障害			(1) 1	(0) 1	(0) 2	(1) 3	(0) 6	(0) 3	(0) 5	(0) 5	(0) 4	(0) 5	(2) 35
4	肢体不自由										(1) 1	(0) 1		(1) 2
5	病弱													
6	言語障害				(1) 1	(1) 3	(1) 4	(2) 4	(1) 4	(3) 6	(3) 12	(2) 16	(2) 12	(16) 62
7	自閉症・情緒障害				(0) 1	(0) 2	(0) 1	(0) 3	(0) 2	(0) 2	(0) 2	(2) 5	(0) 3	(2) 21
8	重複障害													
9	その他		(0) 3	(0) 3	(1) 4	(0) 3	(0) 2	(1) 5	(2) 5	(0) 3	(0) 4	(0) 5	(0) 2	(4) 39
計		(0) 0	(0) 3	(1) 4	(2) 7	(1) 10	(2) 10	(3) 18	(4) 17	(3) 16	(4) 24	(4) 32	(3) 24	(27) 165
延べ来談者数		0	5	8	13	20	20	33	38	34	57	66	49	343

() 内は新規ケース数

② 一般教育相談

番号	状態別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	不登校	(0) 1	(2) 4	(4) 8	(4) 7	(5) 7	(3) 9	(5) 9	(1) 8	(3) 11	(2) 9	(3) 12	(1) 9	(33) 94	
2	集団不 適応	(2) 3	(1) 3	(0) 2	(1) 3	(1) 4	(2) 4	(4) 7	(0) 4	(0) 5	(2) 6	(2) 6	(4) 7	(19) 54	
3	非行	(1) 1												(1) 1	
4	家庭内暴力				(1) 1				(0) 1		(1) 1		(0) 1	(2) 4	
5	無気力										(1) 1			(1) 1	
6	怠学														
7	性格			(1) 1	(1) 1	(1) 1								(3) 3	
8	精神疾患・ 神経症								(1) 1	(0) 1			(0) 1	(1) 3	
9	緘黙・チック・ 夜尿														
10	情緒不安定			(1) 1						(1) 1	(0) 1	(0) 1	(1) 2	(3) 6	
11	学業問題					(1) 1	(0) 1		(1) 1	(1) 2	(0) 1	(0) 1		(3) 7	
計			(3) 5	(3) 7	(6) 12	(7) 12	(8) 13	(5) 14	(9) 16	(3) 15	(5) 20	(6) 19	(5) 20	(6) 20	(66) 173
延べ来談者数			10	13	18	21	21	24	27	27	34	36	35	37	303

() 内は新規ケース数

イ 学校支援

学 校 支 援	学校や教育研究会等からの要請に応じて、児童生徒の学校生活の充実に向けた研修会や事例研究会等に指導主事を派遣し、助言・援助を行った。	各学校・教育研究会等	学校（小・中・高・特） 57 学校以外の教育団体等 36
			合計 93 回

(6) 幼児教育センター事業

幼稚園・保育所・小学校の連携を図りながら、幼児期から児童期への円滑な接続と幼児期にふさわしい教育環境を目指し、次の基本方針に基づき各種の事業を実施した。

ア 基本方針

- (1) 幼稚園・保育所・小学校連携の推進
- (2) 研修
- (3) 情報の提供
- (4) 調査研究

イ 事業内容

(1) 幼稚園・保育所・小学校連携の推進

番号	事業名	内 容
1	幼稚園・保育所・小学校連携推進会議	「とちぎの幼児教育」の実施状況を報告し、今後の施策・事業の方向性に対する意見や、幼・保・小連携の現状と課題について協議した内容を、次年度の取組に生かした。
2	幼・保・小ジョイントプロジェクト	各市町単位で、幼稚園・保育所・小学校の教職員が、保育・授業参観、研究協議等を通して、「子ども観」「教育観」の相互理解を深め、教育・保育の充実を図る。 本年度は、保育・授業を、地域内の幼・保・小の教職員が参観し、伝え合う力の育成を視点とした協議を行い、幼児期から見通しをもった指導の在り方を明らかにするなどの成果を上げた。 (実施地域、協力園・校) 茂木町：茂木愛泉幼稚園、逆川小学校

(2) 研修

- ① 研修（P13照）
- ② 園内研修等への支援

幼稚園・保育所等からの要請に応じ、指導主事や幼児教育専門員等を保育・教育アドバイザーとして派遣し、教育内容や教育課程に関すること、幼稚園・保育所・小学校の連携に関すること、家庭との連携に関すること等への講話、演習を行った。また、教職員等からの教育上の問題や悩みについての相談に応じ、課題の解決への援助を行った。

(ア) 保育・教育アドバイザー派遣件数

番号	派遣先	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	幼稚園		1	2	2	3	2	3	7	4	5	7	3	0	39
2	保育所			1	3	1	1	1	1	2	1	1	1	1	14
3	教育委員会その他		1	3	4	2		4	5	10			2	2	33
計			2	6	9	6	3	8	13	16	6	8	6	3	86

内容等：「発達に応じた子どもへの対応」、「教育課程の編成」、「幼・保・小連携」、「組織マネジメント」、「子育てと親のかかわり」、「体づくり」、「幼児理解」、「就学に向けて」、「要録の記入と活用」、「計画訪問」、その他

(イ) 教育相談実施件数

番号	派遣先	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	来 所 相 談	5	1	1	2	1	1	0	0	1	2	0	3	17
2	電 話 相 談	0	2	2	1	1	4	0	0	2	4	2	2	20
計		5	3	3	3	2	5	0	0	3	6	2	5	37

内容等：「教育課程の編成」、「指導計画の作成」、「配慮を要する子への対応」、その他

(3) 情報の提供

幼児教育に関する専門書・教材ビデオ等を整備し、研修等で活用することにより、教職員の指導力を高めるとともに、情報誌やホームページ等により、保護者や幼児教育関係者に情報を提供し、子育ての支援や幼児教育の理解促進を図った。

① 専門書・教材ビデオの活用・ホームページによる情報提供

区 分	内 容	備 考
幼児教育ビデオライブラリー	研修用ビデオの整備と活用	貸出6件16本 活用9件14本
食 育 ラ イ ブ ラ リ ー	食育関連教材の貸出	貸出5件6教材
幼 児 教 育 セ ン タ ー ホ ー ム ペ ー ジ	幼児教育センター事業案内、リーフレット、その他 URL http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/	アクセス件数 2,639件

② 国公立幼稚園代表者会議の開催

- ・ 期 日：平成26年5月28日
- ・ 参加者：国公立幼稚園関係者 6園11名
- ・ 内 容：国及び県の幼児教育関係施策・指針の伝達、各園の情報交換等

③ 刊行活動

刊行活動	部数等	配布先	主な内容
幼児教育センター情報誌 「おうち」	平成26年9月 75,000部	各幼稚園、保育所等を通じ、3歳から5歳の子をもつ保護者及び教職員、その他関係機関等	第25号： 「なかよしになるって？」
	平成27年2月 75,000部		第26号：「雨の日に」

(4) 調査研究

① 幼児教育に関する調査研究（再掲）

幼児教育や幼稚園・保育所・小学校の連携等に係る今日的課題について調査研究を行い、その成果を広く発信・提供し課題解決の一助とした。

② 家庭における幼児教育の実態調査

研 究 主 題	研 究 内 容	対 象	備 考
家庭における幼児教育の実態調査	テーマ： 「なかよしになるって？」について 「雨の日に」について	幼稚園・保育所に 通う3歳から5歳 の子をもつ保護者	調査：年2回実施 結果は幼児教育センターで発行 する幼児教育センター情報誌に て情報提供

(7) 資料・情報の収集提供事業

教育関係職員の教育活動及び研修を進める上に必要な資料・情報を提供するため、機能の拡大に努めた。

アクセス件数

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
総合教育センターホームページ ア ク セ ス 件 数	8,017	11,062	12,076	13,146	11,477	9,184	11,266	11,083	7,535	12,007	8,917	6,924	122,694

ア 資料・情報の提供（再掲）

① 図書資料室

ア 利用状況

番号 \ 区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1 来 室 者	238	292	340	361	423	239	363	232	213	162	227	147	3,237
2 貸出・レファレンス	147	154	156	220	126	123	215	134	123	138	110	69	1,715

※ 当センター職員の利用も含む

② カリキュラムセンター

ア 利用者数

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利 用 者 数	19	47	16	12	4	24	54	31	14	37	30	14	302

イ アクセス件数

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ホームページアクセス件数	6,409	11,308	12,468	15,754	11,004	10,538	11,451	9,571	7,316	9,362	11,521	5,123	121,825

③ 幼児教育センター

ア アクセス件数

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
幼児教育センターホームページ ア ク セ ス 件 数	268	236	278	232	238	203	231	197	140	219	178	219	2,639

イ 広報活動

刊行活動	内容	発行回数等	
要 覧 (平成26年度)	総合教育センター事業計画、内容、事務分掌、施設、設備等の概要	年1回発行 26年5月	部数 1,200部
所 報 (平成25年度)	平成25年度の総合教育センター事業等の実績	年1回発行 26年5月	部数 1,200部
とちぎ教育のしおり (平成26年度)	県教育行政の組織・予算・決算の状況、児童・生徒数及び教員構成、社会教育施設の状況等	年1回発行 26年10月	部数 8,500部
教育行政資料要覧 (平成26年度)	県教育行政全般にわたる基礎的統計資料及び各種資料	年1回発行 27年3月	部数 150部
栃 木 県 の 教 育 (平成25年度)	平成25年度の県教育行政施策の実績等	年1回発行 26年11月	部数 950部
総合教育センターだより「学びの杜通信」	総合教育センターの各種事業・資料の紹介、募集、報告等の定期的メール配信	月1回配信	配信 524箇所 累計 5,240箇所

(8) 研究・学習活動支援事業

教育研究団体が当面している教育に対する諸問題の研究や生涯学習関係団体の学習活動について、その推進が図られるよう支援協力した。

ア 教育関係団体等への会場提供

番号	種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	小学校教育研究会														
2	中学校教育研究会			1							1				2
3	高等学校教育研究会		1	2	2				1	3	2	1	1		13
4	生涯学習団体		1	1	2		3	3		2	3	4	3	1	23
5	その他		27	31	29	30	22	29	36	22	22	15	17	27	307
計			29	35	33	30	25	32	37	27	28	20	21	28	345

イ 要請に基づく講師派遣（派遣件数）

番号	種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	幼稚園		1	3	5	3	3	4	7	5	5	7	4		47
2	保育所			1	3	1	1	1	1	2	1	1	1	1	14
3	小学校		12	4	14	16	10	6	12	9	3	4	6		96
4	中学校		7		17	11	5	2	4	5	4	1			56
5	高等学校		3	8	6	17	1	3	9	4	6	4	2	1	64
6	特別支援学校					1	5	2		1					9
7	本県の各部局		31	37	35	43	27	27	41	38	22	34	24	12	371
8	本県以外の都道府県			1		1	1		1						4
9	県内市町村		1	10	11	8	7	4	11	11	5		6	3	77
10	生涯学習関係団体			5	3	1		4	1	3	1	1			19
11	小学校教育研究会				1	2	2		4	11	1			1	22
12	中学校教育研究会						2	1	2	2	1				8
13	高等学校教育研究会		4	9	11	5	5	5	5	10	8	2	4		68
14	その他		1	1	9	12	8	2	5	10	3	1	7	1	60
計			60	79	115	121	77	61	103	111	60	55	54	19	915

※1～10：要請による訪問等

11～14：教育研究団体主催の各教科等に関する研究会のための訪問等

[内訳]

① 生涯学習部

番号	種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	幼稚園				1		1								2
2	保育所														
3	小学校											1			1
4	中学校					1									1
5	高等学校			1					1						2
6	特別支援学校														
7	本県の各部局		6	16	12	16	6	6	11	17	3	10	14	3	120
8	本県以外の都道府県														
9	県内市町村			1									1		2
10	生涯学習関係団体			5	3	1		3	1	3	1	1			18
11	小学校教育研究会														
12	中学校教育研究会														
13	高等学校教育研究会														
14	その他				6	4									10
計			6	23	22	22	7	9	13	20	4	12	15	3	156

※1～10：要請による訪問等

11～14：教育研究団体主催の各教科等に関する研究会のための訪問等

② 研 修 部

番号	種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	幼稚園												1		1
2	保育所														
3	小学校		8	3	4	9	4	2	5			1	4		40
4	中学校		2		6	2				1	2				13
5	高等学校		2	1		1			2	2		1			9
6	特別支援学校						4								4
7	本県の各部局		4	4	10	5	3	6	6	9	6	5	2	3	63
8	本県以外の都道府県					1	1		1						3
9	県内市町村		1	4	4	5	5		6	4	2		1	1	33
10	生涯学習関係団体														
11	小学校教育研究会				1				4	5				1	11
12	中学校教育研究会								1						1
13	高等学校教育研究会		4	5	8	4	4	3	1	7	8	2	3		49
14	その他					1	3	1		1	2		3		11
計			21	17	33	28	24	12	26	29	20	9	14	5	238

※ 1～10：要請による訪問等

11～14：教育研究団体主催の各教科等に関する研究会のための訪問等

③ 研究調査部

番号	種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	幼稚園														
2	保育所														
3	小学校		3	1	8	5		1	1	3	1	1	2		26
4	中学校		5		11	5		2	3	3	2	1			32
5	高等学校		1	3	4	5	1		2		3	2	2	1	24
6	特別支援学校						1								1
7	本県の各部局		8	5	8	9	10	8	14	8	6	11		1	88
8	本県以外の都道府県			1											1
9	県内市町村			3	6	2	1	3	3	4	3				25
10	生涯学習関係団体							1							1
11	小学校教育研究会					1	1			2					4
12	中学校教育研究会						1		1	2					4
13	高等学校教育研究会			2	1	1	1	1	1						7
14	その他				1	3	3	1	4	6		1	3	1	23
計			17	15	39	31	19	17	29	28	15	16	7	3	236

※ 1～10：要請による訪問等

11～14：教育研究団体主催の各教科等に関する研究会のための訪問等

④ 教育相談部

番号	種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	幼稚園														
2	保育所														
3	小学校				1	2	6	2	3	1	2	1			18
4	中学校					2	5		1	1					9
5	高等学校			3	2	11		3	4	2	3	1			29
6	特別支援学校							1							1
7	本県の各部局		13	12	5	13	8	7	10	4	7	8	8	5	100
8	本県以外の都道府県														
9	県内市町村					1	1			1			2	1	6
10	生涯学習関係団体														
11	小学校教育研究会					1	1			3	1				6
12	中学校教育研究会						1	1			1				3
13	高等学校教育研究会			2	2			1	3	3			1		12
14	その他		1	1	2	4	2		1	3	1		1		16
計			14	18	12	34	24	15	22	18	15	10	12	6	200

※1～10：要請による訪問等

11～14：教育研究団体主催の各教科等に関する研究会のための訪問等

⑤ 幼児教育部

番号	種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	幼稚園		1	2	2	3	2	3	7	4	5	7	3		39
2	保育所			1	3	1	1	1	1	2	1	1	1	1	14
3	小学校		1		1				1	1					4
4	中学校					1				1					2
5	高等学校														
6	特別支援学校					1		1		1					3
7	本県の各部局			1	2			1		3				1	8
8	本県以外の都道府県														
9	県内市町村			2	1			2	4	3			2	1	15
10	生涯学習関係団体														
11	小学校教育研究会									1					1
12	中学校教育研究会														
13	高等学校教育研究会														
14	その他														
計			2	6	9	6	3	8	13	16	6	8	6	3	86

※1～10：要請による訪問等

11～14：教育研究団体主催の各教科等に関する研究会のための訪問等

(9) 教育充実振興事業

教職員の資質の向上、児童生徒の研究意欲の高揚及び生涯学習の振興に資するため、各種の事業を実施した。

ア 教養講座

番号	講座名	内 容	期 日	講 師	演 題	参加人数	会 場
1	公開講座 「ライフ アップセ ミナー」 (再掲)	総合教育センターが主催する研修の中から、県民の学習活動にとして活用できる部分を広く一般に公開し、幅広い学習機会を提供した。	6/4 2/27 23回		・地域活動を充実させるために ・いつも心に人権感覚を ・もしもの時も落ち着いて～不審者から子どもを守る～ ・とちぎの魅力3 とちぎの「かみなり」 ・情報化社会を安心して生きるために ・これからの社会教育や生涯学習の方向性等	268人	総合教育センター
2	公開講座 「学びの 杜の公開 講座」 (再掲)	県民の方々の多様な学びを支援するため、センターの施設・設備を生かした講座を実施した。	7/26 2/8		・親子で対決！風に向かって走るウィンドカーを作ろう！ ・親と子の読書感想文書き方教室 ・小さな縄文土器を作ろう ・つくってみよう立体パズル ・映画を楽しもう♪ ・エコクラフト手芸に挑戦しよう ・タマネギの皮で草木染めをしよう ・親子プチ野球教室 ・栃木県の立体地図を作ろう ・プログラムでロボットを動かそう ・親子鉄道教室	390人	総合教育センター
3	教育相談 特別講座	いじめ防止対策推進法の施行等を踏まえ、いじめの予防について考える機会を提供した。	8/11	法政大学 教授 渡辺 弥生	講演 「いじめの予防教育をどのように進めるか」	242人	総合教育センター
				小山市立萱橋小学校 教諭 堀口 義清 那須町立黒田原中学校 教諭 相馬 秀樹 栃木県立矢板東高等学校 教諭 関谷 恭弘 法政大学 教授 渡辺 弥生 総合教育センター教育相談部 指導主事 佐山 功	シンポジウム 「いじめの予防につながる指導の実際」		

イ 展覧会・発表会・コンクール

番号	事業名	期 日	対 象	出品・発表点数	参加人数	会 場
1	第64回全国小・中学校 作文コンクール	審 査 9月24日 表彰式 11月19日	小学校 中学校	小学校 772点 中学校 77点	849人	総合教育センター
2	第58回日本学生科学賞 栃木県展覧会	審 査 10月9日 展 示 10月11日～13日 表彰式 10月23日	中学校 高等学校	中学校 11点 高等学校 19点	114人	県庁研修館 総合教育センター
3	第64回栃木県児童生徒 発明工夫展覧会	審 査 10月1日 展 示 10月3日～5日 表彰式 11月17日	小学校 中学校 高等学校	180点	180人	子ども総合科学館 総合教育センター

番号	事業名	期 日	対 象	出品・発表点数	参加人数	会 場
4	第68回栃木県理科研究 展覧会及び発表会	地区展 1月15日～27日 中央展 2月5日～13日 審 査 2月6、13日 展 示 2月7日～8日 表彰式 2月13日	小学校 中学校 高等学校 特別支援 学校	地区展 3,724点 中央展 102点	地区展 約18,000人 中央展 約400人	各地区会場 子ども総合 科学館 総合教育 センター
5	第27回栃木県自作 視聴覚教材コンクール (再掲)	予備審査 1月19日 本審査 2月 3日 表彰式 2月25日	県民一般	社会教育部門 8点 学校教育部門 3点	11人	総合教育 センター

ウ 開放事業

名 称	期日	対 象	内 容 等	参加人数
総合教育センター 開放事業 『学びの杜 ～ふれる・つくる・ 考える～』	12/20	子どもと親をはじめ とする県民	子どもの遊び（学習）活動の支援や、保護者 をはじめ大人の教育力の向上を目的として『ふ れる、つくる、考える』の3つのジャンルの 34の活動プログラムを実施した。	777人

エ 教育研究発表大会

名 称	期日	対 象	内 容 等	参加人数
平成26年度栃木県教育 研究発表大会	1/30 1/31	小・中・県立学校教員 一般県民	県内各教育機関における学校教育及び生涯学 習に関する実践研究の成果を広く公開し、そ の理解と普及を図り、本県教育の充実・向上 と生涯学習の振興に努めた。	1,102人

(10) 内地留学生研修実施状況

ア 内地留学生

前 期 4月1日～9月30日 7人			
領 域	氏 名	勤 務 校	研 究 テ ー マ
児童・生徒指導	北澤 譲	足利市立南小学校	カウンセリングマインドを基盤とした保護者との連携の在り方 －面談場面のロールプレイを通して－
児童・生徒指導	直井 綾	鹿沼市立みどりが丘小学校	児童が安心感をもって学校生活を送るための支援の在り方 －不適切な養育環境にあった児童の観察を通して－
特別支援教育	原 晃子	宇都宮市立富士見小学校	児童が自己を肯定的に捉える感情を高めるための指導の在り方
特別支援教育	関 尚美	小山市立旭小学校	児童のうまくいっているところに着目した指導方法の工夫 －自閉症・情緒障害特別支援学級における算数科「長さ」の指導を通して－
特別支援教育	菊地 明子	佐野市立犬伏東小学校	児童が意欲的に行動できる係わり手の在り方 －特別支援学級における自立活動の時間を通して－
教育近代化 (生涯学習)	山木 高志	宇都宮市立姿川第二小学校	学校教育での地域連携活動の意義と地域連携教員の役割
特別支援教育	岡田 幸児	栃木県立栃木特別支援学校	軽度の知的障害がある生徒に対する情報教育の充実

後 期 10月1日～3月31日 8人			
領 域	氏 名	勤 務 校	研 究 テ ー マ
児童・生徒指導	飯島 実	宇都宮市立石井小学校	適切に自己表現できる子どもを育てるための指導の在り方
児童・生徒指導	見目 正恵	高根沢町立阿久津小学校	校内支援体制の充実のための取組
特別支援教育	本間 貴子	上三川町立上三川小学校	子どもの主体性を育む係わり手の在り方
特別支援教育	榎戸 香重	真岡市立真岡西小学校	子どもの「自立」を促す係わり手の在り方
特別支援教育	荒垣 啓子	矢板市立川崎小学校	子どものよさを生かす係わり手の在り方
教育近代化 (生涯学習)	神山 幸江	日光市立大沢中学校	地域連携教員による情報収集と教職員への情報提供の在り方 －上都賀地区をモデルに－
教育近代化 (情報)	藤沼 敏行	栃木市立大平中学校	プログラムによる計測・制御の学習の最適化 －社会で活躍できる人材の育成を目指して－
理 科	田名網恒介	足利市立山前小学校	素朴な概念を科学的な概念に変容させる理科学習の在り方 －電気の学習を通して－

イ 内地留学生研修内容

期 日		研 修 内 容	備 考
前期	後期		
4月2日 4月2日 4月18日	10月1日 10月1日 10月17日	開講式 オリエンテーション 共通研修 教員としての資質を高める研修 一般研修 各教科・各領域の必要な内容の研修	内地留学生全員 一斉に全員 各教科・領域ごとに全員
4月21日 9月19日	10月20日 3月20日	専門研修 研究テーマに即した内容の研修	各教科・領域ごとに全員
9月10日	3月9日	内地留学成果発表会	内地留学生全員
9月24日	3月20日	閉講式	内地留学生全員

(1) 加盟機関としての事業活動

名 称	期 日	活 動 内 容	備 考
栃木県教育研究所 連絡協議会	5/14	総会・第1回常任委員会 ・平成25年度事業報告・収支決算報告について ・平成26年度予算案・事業計画案について	加盟機関数：11 会長： 栃木県総合教育センター 所長 長野 誠
	10/22	第2回常任委員会 ・平成26年度栃木県教育研究発表大会について ・平成26年度栃教研連会報の発行について ・平成27年度栃教研連総会・常任委員会の期日について	

4. 職員等一覧

平成27年3月31日現在

部	職 名	氏 名	部	職 名	氏 名
総務部 12名	所 長	長 野 誠	研究調査部 16名	部 長	若 杉 俊 明
	次 長	水 野 恵 司		部 長 補 佐	小 泉 浩
	部 長 (兼)	水 野 恵 司		〃	宮 井 由 美
	部 長 補 佐 (総 括)	村 田 浩 子		副 主 幹	坂 本 弘 志
	主 幹 (企画調整担当)	大 川 直 邦		〃	菊 地 高 夫
	指 導 主 事 (〃)	小 栗 克 樹		指 導 主 事	阿 部 信 太 郎
	〃 (〃)	大 高 裕 一		〃	岩 瀬 英 二 郎
	主 査	木 舟 克 己		〃	山 口 昌 子
	〃	高 橋 麻 紀		〃	岩 本 善 行
	〃	渡 辺 典 子		〃	寺 崎 義 人
	主 任	岩 崎 純 子		〃	和 田 安 史
	主 事	小 林 集		〃	関 口 健 太 郎
生涯学習部 12名	技 査	腰 塚 政 美	教育相談部 11名	〃	大 山 晃
	臨 時 補 助 員	草 野 秀 子		係 長	田 代 文 雄
	部 長	猪 瀬 清 隆		主 査	永 畑 由 美
	部 長 補 佐	近 藤 正		臨 時 補 助 員	小 堀 ひろみ
	副 主 幹	小 林 己 伸		部 長	中 田 誠
	〃	渡 邊 紀 子		部 長 補 佐	梅 澤 圭 子
	〃	添 谷 元 良		副 主 幹	谷 口 照 子
	社 会 教 育 主 事	高 徳 晃		〃	日 向 野 晃
	〃	佐 藤 孔 之		〃	塩 田 裕 子
	〃	白 井 淳 子		〃	増 渕 直 樹
	教 育 研 修 研 究 調 査 員	関 卓 司		〃	小 島 圭 子
	〃	大 谷 仁		指 導 主 事	佐 山 功
研修部 17名	生 涯 学 習 相 談 員	津 浦 幸 夫	幼児教育部 8名	〃	青 柳 晋 作
	〃	綱 川 芳 孝		〃	人 首 健 一
	部 長	松 本 良 雄		教 育 研 修 研 究 調 査 員	石 川 栄 壽
	副 主 幹	柳 田 昌 臣		部 長	田 渕 光 与
	〃	若 林 直 行		部 長 補 佐	影 山 晃 一
	〃	山 口 信 一		副 主 幹	高 木 恵 美
	〃	金 敷 美 由 紀		指 導 主 事	前 原 由 紀
	〃	三 澤 雅 子		〃	黒 川 貴 広
教育部 7名	〃	北 條 諭	教育経営研究室 7名	幼 児 教 育 セ ン タ ー 顧 問	神 長 美 津 子
	指 導 主 事	谷 中 政 昭		幼 児 教 育 専 門 員	吉 田 カ ヨ
	〃	鈴 木 秀 子		〃	栗 田 英 子
	〃	野 澤 裕 治		教 育 研 修 専 門 員	藤 田 充 孝
	〃	小 栗 和 彦		〃	小 林 正 明
	〃	古 口 の り 子		〃	尾 花 正 二
	〃	宮 田 勇		〃	飯 田 宣
	〃	今 井 和 彦		〃	増 田 眞 千 子
	〃	庄 司 由 夏		〃	久 保 徹
	〃	大 石 務		〃	村 上 雅 之
	〃	板 橋 美 季			
現在数 84名					

5. 施設の利用状況

月 別 利用区分				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計		
研修等による利用		件数		20	42	72	64	46	50	47	51	28	25	23	5	473		
		人数		976	3,113	2,901	3,426	2,373	2,082	2,264	2,040	1,464	2,537	1,322	347	24,845		
貸 会 場	県関係機関の利用			件数	17	25	26	31	27	23	32	28	18	20	26	20	293	
				人数	2,101	1,922	2,277	4,368	5,356	2,588	3,419	2,470	1,260	2,080	3,965	2,212	34,018	
	教育 関係 ・ 一般 県民 の 利用	月曜日 （ 金曜日	昼間	件数	11	11	11	9	5	10	9	11	10	3	4	11	105	
				人数	630	490	1,140	568	130	695	350	850	350	238	180	500	6,121	
		夜間	件数	5	7	7	10	4	7	9	8	8	6	6	7	84		
			人数	53	110	130	134	80	110	135	154	330	120	120	140	1,616		
		土 曜 日		件数	11	9	6	4	8	9	11	5	3	7	6	4	83	
				人数	380	310	210	90	300	275	360	94	60	460	180	115	2,834	
		日 曜 日		件数	4	7	9	6	8	6	8	3	7	4	5	6	73	
				人数	95	304	730	554	725	515	330	55	1,255	70	740	220	5,593	
		計		件数	31	34	33	29	25	32	37	27	28	20	21	28	345	
				人数	1,158	1,214	2,210	1,346	1,235	1,595	1,175	1,153	1,995	888	1,220	975	16,164	
	小 計				件数	48	59	59	60	52	55	69	55	46	40	47	48	638
					人数	3,259	3,136	4,487	5,714	6,591	4,183	4,594	3,623	3,255	2,968	5,185	3,187	50,182
	来 所 相 談	一般教育相談			件数	10	8	13	14	14	15	16	15	21	21	20	23	190
					人数	25	14	19	27	22	25	27	27	35	38	35	40	334
障害児教育相談			件数	0	3	4	7	10	10	18	17	16	24	32	24	165		
			人数	0	5	8	13	20	20	33	38	34	57	66	49	343		
図 書 資 料 室				人数	238	292	340	361	423	239	363	232	213	162	227	147	3,237	
学習情報センター				人数	276	171	170	161	153	187	183	160	243	153	143	160	2,160	
カリキュラムセンター				人数	19	47	16	12	4	24	54	31	14	37	30	14	302	
視 察 ・ 見 学				件数	1	1	1	2	1	2	0	1	3	2	3	1	18	
				人数	55	1	4	4	6	2	0	2	11	5	6	1	97	
合 計				件数	79	113	149	147	123	132	150	139	114	112	125	101	1,484	
				人数	4,848	6,779	7,945	9,718	9,592	6,762	7,518	6,153	5,269	5,957	7,014	3,945	81,500	

6. 講師一覧

所 属 等	氏 名	講 話 の テ ー マ	研 修 事 業 名	研修日
宇都宮大学教育学部 附属幼稚園	岩渕千鶴子	幼稚園の安全管理と健康管理	新規採用幼稚園教諭研修	4月3日
宇 都 宮 大 学	佐々木英和	これからの生涯学習の役割と推進 の在り方	生涯学習推進初任者研修	4月23日
教育改革実践家／ 杉並区立和田中学校元校長	藤原 和博	マネジメントを生かした学校経営	校長研修(小・中)(高・特)	5月8日 5月12日
栃 木 県 薬 剤 師 会	君 島 正	学校環境・衛生活動における諸検 査	新規採用養護教諭研修	5月23日
信 州 大 学	高橋 知音	支援が必要な児童生徒の理解と対 応	特別支援教育推進者研修 (高等学校) 新任特別支援教育コー ディネーター研修 (小・中)	5月27日
益子町教育委員会 生涯学習課	岩崎真紀子	生涯学習に関する職員の活動	生涯学習推進初任者研修	5月28日
地域戦略研究会代表理事	黒崎日出雄	地域活動を充実させるために ～今地域活動が求められる理由～	女性教育指導者研修	6月4日
文部科学省初等中等教育局 幼児教育課	津金美智子	子ども・子育て支援新制度を踏ま えた今後の子育て支援の在り方	幼稚園・保育所等パワー アップセミナー	6月4日
メリーランド保育園	若林 享子	親学習プログラムの目指すもの	家庭教育支援プログラム 指導者研修 ～親学習プログラムコー ス～	6月6日
放 課 後 N P O アフタースクール	織 畑 研	放課後子どもプランの意義	放課後子どもプラン指導 者研修	6月7日
上三川町教育委員会 生涯学習課	久保 恵子	集会所における事業の推進と課題	人権教育指導者専門研修	6月10日
宇 都 宮 大 学	橘川 眞彦	人権教育の視点	人権教育指導者専門研修	6月10日
信 州 大 学	上村恵津子	コンサルテーションの考え方・進 め方	校内支援体制研修	6月10日
日 本 映 画 大 学	栗 原 保	学校は今、子どもたちは今 ～今、求められる地域の教育力～	地域教育力活性化指導者 研修	6月12日
栃 木 県 連 合 教 育 会	丸 山 隆	教員のためのメンタルヘルス	初任者研修 (高・特)	6月12日
作新学院大学 女子短期大学部	石原 栄子	家庭教育に求められるもの～親の 現状と親への支援のありかた～	家庭教育支援プログラム 指導者研修 ～思春期版プログラム コース～	6月20日
部落解放愛する会 栃 木 県 連 合 会	松下 正行	同和問題を考える	人権教育指導者専門研修	6月24日
部落解放愛する会 栃 木 県 連 合 会	山根 吉雄	同和問題を考える	人権教育指導者専門研修	6月24日
株 式 会 社 エ ル モ 社	住田 篤	書画カメラ・電子黒板の基本操作	ICT活用研修〔書画カメ ラ・電子黒板の活用〕	6月24日
十文字学園女子大学 幼児教育学科	宮里 暁美	協議主題の解説	保育・教育課程研究セミ ナー	6月25日
宇 都 宮 大 学	松 本 敏	校内研修の活性化に向けて	校内研修ステップアップ 講座	6月27日
三 重 大 学	瀬戸美奈子	コーディネーションの考え方・進 め方	校内支援体制研修	6月27日
三楽病院精神神経科部長	真金 薫子	教職員のメンタルヘルスケア	学校経営研修 (小・中) 教頭2年目研修 (高・特)	6月30日
静 岡 大 学	熊倉 啓之	数学的活動の充実	数学専門研修 (高)	6月30日

所 属 等	氏 名	講 話 の テ ー マ	研 修 事 業 名	研修日
栃 木 県 連 合 教 育 会	丸 山 隆	教員のためのメンタルヘルス	初任者研修（小・中）	7月1日 7月3日
国 際 医 療 福 祉 大 学 ク リ ニ ッ ク 言 語 聴 覚 セ ン タ ー	小林 順子	思春期の子どもの特徴と保護者の課題	家庭教育支援プログラム指導者研修 ～思春期版プログラムコース～	7月2日
宇 都 宮 共 和 大 学	土 沢 薫	メンタルヘルスの理解と対応	養護教諭2～5年目研修	7月7日
佐 野 市「い き い き 何 でも 体 験 ク ラ ブ」	勅使川原藤江	「いきいき何でも体験クラブ」の取組	放課後子どもプラン指導者研修	7月8日
日 光 市「大 沢 地 区 放 課 後 子 ど も 教 室」	五十嵐至子	「大沢地区放課後子ども教室」の取組	放課後子どもプラン指導者研修	7月8日
作 新 学 院 大 学	青木 章彦	新しい環境教育の展開	環境学習プログラム研修	7月8日
栃木障害者職業センター	野 口 恵	就労支援の実際	職業教育指導力向上研修	7月8日
女性教育推進連絡協議会 小 山 支 部	大久保幸子	実践事例から学ぶ地域活動の実際	女性教育指導者研修	7月9日
女性教育推進連絡協議会 那 須 塩 原 支 部	柳場美枝子	実践事例から学ぶ地域活動の実際	女性教育指導者研修	7月9日
跡 見 学 園 女 子 大 学	伊澤 成男	教職員のためのメンタルヘルス	教職20年目研修（高・特）	7月10日
部落解放同盟栃木県連合会	和田 献一	同和問題を考える	人権教育指導者専門研修	7月11日
部落解放同盟栃木県連合会	戸 田 眞	同和問題を考える	人権教育指導者専門研修	7月11日
栃 木 県 連 合 教 育 会	丸 山 隆	事務職員のためのメンタルヘルス	新任補佐級事務長研修（小・中） 新任係長級事務長研修（小・中）	7月14日
栃 木 県 連 合 教 育 会	大網 信祥	学校組織マネジメントの理解と実践	新任補佐級事務長研修（小・中）	7月14日
元関東学院中学・高等学校	橋本 幸晴	カウンセリング基礎演習	教育相談基礎研修	7月14日
国 際 医 療 福 祉 大 学	大石 剛史	子どもとかかわるボランティア活動の留意点 ～ボランティア活動の責任とは～	地域教育力活性化指導者研修	7月18日
陽 東 中 学 校 区 学 校 支 援 地 域 本 部	山田 葉子	ボランティアコーディネーターに聞く ～学校支援ボランティアを活性化 するポイント～	地域教育力活性化指導者研修	7月18日
東 京 成 徳 短 期 大 学 幼 児 教 育 課	安見 克夫	幼稚園における組織マネジメント	幼稚園教職10年経験者研修	7月22日
N P O 那 須 高 原 自 然 学 校	斎藤 明子	幼児から小学校低学年を対象とした環境学習プログラム	環境学習プログラム研修	7月22日
み と カ ウ ン セ リ ン グ ル ー ム ど ん ぐ り	人見健太郎	生徒理解～思春期・青年期の特徴を踏まえて～	教職10年目研修（高・特）	7月23日
宇 都 宮 共 和 大 学	土 沢 薫	子どものこころを支える健康相談と連携の在り方	養護教諭10年目研修	7月23日
上 越 教 育 大 学 大 学 院	土谷 良巳	障害の重い子どもとの教育的かかわりと授業づくり	障害のある子どもの指導 充実研修Ⅲ〔重複障害〕	7月23日
と ち ぎ グ ッ ド メ ン タ ル & キ ャ リ ア	坂寄 和弘	教員のためのメンタルヘルス	教職10年目研修（小・中） （高・特）	7月24日 9月12日
中 央 児 童 相 談 所	鈴木 敦子	非行の理解と対応	教育相談基礎研修	7月28日
東 京 学 芸 大 学	菅 野 敦	知的障害のある子どものキャリア教育	障害のある子どもの指導 充実研修Ⅵ〔今日的課題〕	7月28日

所 属 等	氏 名	講 話 の テ ー マ	研 修 事 業 名	研修日
東 京 都 立 高 等 学 校	杉山 正明	保健学習の目指すこととは	養護教諭専門研修Ⅰ	7月29日
宇 都 宮 大 学	小原 伸一	音楽を聴き深める力を育てる鑑賞指導	音楽専門研修	7月29日
ぺんてる株式会社 中央研究所	加藤 昭光	造形活動の理論と実際・描画材料編	図工・美術専門研修	7月29日
茨 城 大 学	新井 英靖	障害のある子どもの教科指導と授業づくり～国語、算数・数学を中心に～	特別支援学級等新任教員研修 障害のある子どもの指導 充実研修Ⅰ〔知的障害〕	7月29日
実 践 女 子 大 学	長 崎 勤	社会性・人間関係の発達と支援	障害のある子どもの指導 充実研修Ⅱ〔自立活動の指導〕	7月30日
株式会社サクラクレパス	高 橋 修	造形活動の理論と実際・描画材料編	図工・美術専門研修	7月31日
宇 都 宮 大 学	和唐 正勝	健康の保持増進と健康教育	養護教諭10年目研修・ 養護教諭5年目研修・新任 栄養教諭研修	7月31日
宇 都 宮 共 和 大 学	土 沢 薫	教職員のためのメンタルヘルス	教職20年目研修（小・中）	8月1日
ス マ イ ル コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	小林 里江	地域住民と保護者とのよりよい関係づくりにむけて	教職員のためのパワーアップ講座	8月8日
兵庫教育大学大学院	浅野 良一	学校における組織マネジメント	学校経営研修（小・中）・ 新任教頭研修（小・中）・ 新任教頭研修（高・特）	8月8日
国 際 医 療 福 祉 大 学 ク リ ニ ッ ク	小林 順子	子どもの発達と心の成長～関係性（間主観性）～	養護教諭10年目研修	8月8日
喜連川小学校地域応援隊	小林 雅子	ボランティアが活躍する学校の声を聞く ～学校と地域のよりよい連携のポイント～	地域教育力活性化指導者研修	8月11日
法 政 大 学	渡辺 弥生	いじめの予防教育をどのように進めるか	教育相談特別講座	8月11日
文 教 大 学	阿野 幸一	「解説」からコミュニケーションへつなげる文法指導	英語専門研修	8月12日
J A X A 宇宙科学研究所	山村 一誠	単元『地球と宇宙』に関する指導に向けて～天体の観測技術や宇宙開発の視点から～	理科専門研修（中・高）	8月22日
宇 都 宮 大 学	陣内 雄次	生涯学習社会のボランティア活動	生涯学習ボランティア研修	8月23日
株 式 会 社 H R イ ン ス テ ィ テ ュ ー ト	三 坂 健	課題解決の方策を探るための論理的思考法	ネクストステージ研修	8月25日
野 沢 歯 科 医 院	野沢 浩道	児童生徒の注意すべき疾病異常の 管理と指導 －歯科－	新規採用養護教諭研修	8月28日
宇 都 宮 大 学 教 育 学 部	司城紀代美	一人一人と集団を育てる特別支援教育	特別支援教育研修	9月2日
宇 都 宮 大 学 教 育 学 部 附 属 幼 稚 園	坂本 修子	環境とかかわりの工夫	特別支援教育研修	9月2日
那須塩原市わかば保育園長	八木澤明美	園内支援体制	特別支援教育研修	9月2日
足 利 市 大 町 保 育 所 コ ー デ ィ ネ ー タ ー	須田 好美	関係機関との連携	特別支援教育研修	9月2日
目 白 大 学	沢崎 達夫	カウンセリングと教育相談	教育相談指導者養成研修 （高等学校）	9月2日
株 式 会 社 ウ イ ル	奥 山 睦	地域で活躍するリーダーに求められるもの	女性教育指導者研修	9月4日

所 属 等	氏 名	講 話 の テ ー マ	研 修 事 業 名	研修日
千 葉 大 学	星 幸 広	危機管理	学校経営研修（小・中）	9月5日
国 立 教 育 政 策 研 究 所	水戸部修治	単元を貫く言語活動を位置付けた読むことの授業づくり	国語科専門研修	9月8日
宇 都 宮 大 学	岡澤 慎一	係わり手としての教師の在り方	特別支援学級等実践研修	9月8日
聖 徳 大 学	小 田 豊	ちょっと気になる子の理解と支援～発達障害に関する基礎知識～	放課後子どもプラン指導者研修	9月10日
みとカウンスelingグループどんぐり	人見健太郎	校内における生徒のアセスメント	教育相談指導者養成研修（高等学校）	9月18日
家庭教育オピニオンリーダー連合会	橋本 房子	家庭教育オピニオンリーダーの活動	家庭教育オピニオンリーダー研修	9月22日
宇 都 宮 大 学	艮 香 織	新しい人権課題について考える	人権教育指導者専門研修	9月26日
宇 都 宮 大 学	廣瀬 隆人	学校と地域・家庭の教育力	ネクストステージ研修	9月26日
三鷹市教育委員会委員長	貝ノ瀬 滋	地域とともにある学校づくり	社会教育主事・社会教育関係職員等実践フォーラム	9月29日
東 京 学 芸 大 学	小林 正幸	不登校の理解と対応	教育相談課題研修〔不登校の理解と対応〕	9月30日
認定こども園ポプラの木	岡 村 宣	子ども・子育て支援新制度を踏まえた今後の幼稚園・保育所経営の在り方	トップセミナー	10月1日
星 槌 大 学	阿部 利彦	発達障害のある子どもの理解と対応～通常の学級における実践～	発達障害のある子どもの教育支援研修	10月2日
放 送 大 学	小林真理子	子どもの理解～心の発達の視点から～	教育相談基礎研修	10月6日
筑 波 大 学	濱口 佳和	いじめの理解と対応	教育相談課題研修〔いじめの理解と対応〕	10月7日
NPO 法 人 キ ャ リ ア カウ ン セ リ ン グ 協 会	橋本 幸晴	カウンセリングマインドを生かした相談のあり方～カウンセリングの基礎と実際～	家庭教育オピニオンリーダー研修	10月8日
河 内 教 育 事 務 所	林田 弘之	手軽に遊べる運動遊び！	放課後子どもプラン指導者研修	10月9日
栃木県子ども総合科学館	赤羽 節夫 室岡 久男	身近な材料で工作して科学発見！	放課後子どもプラン指導者研修	10月9日
日本茶インストラクター協会 栃 木 支 部	小林良康・ 内山 功・ 安塚 浩之	おいしいお茶のいれ方！お茶当てクイズ？	放課後子どもプラン指導者研修	10月9日
岐 阜 大 学 教 育 学 部	春日 晃章	子どもの遊びと体力	スキルアップセミナー I	10月16日
大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校宇都宮校	小林 昭彦	「新学習指導に対応した原価計算の指導法」～総合原価計算における仕損と減損の処理～	産業教育専門研修（商業科）	10月20日
県 立 博 物 館	岡本 直人	とちぎの鉱山（やま）と鉱石（いし）～こんなにあったとちぎの鉱物～	「とちぎの学び」広域講座	10月24日
宇 都 宮 大 学	松 本 敏	ミドルリーダーに求められるもの	ネクストステージ研修	10月27日
栃 木 県 警 察 本 部 生 活 安 全 企 画 課	千葉 敦子 照井由美子	もしもの時も落ち着いて～不審者から子どもを守る～	放課後子どもプラン指導者研修	10月29日
宇 都 宮 大 学 教 育 学 部 附 属 幼 稚 園	五十嵐市郎	教育課程と指導計画について	幼稚園教職10年経験者研修	11月5日
神 奈 川 大 学	久保野雅史	「授業は英語で行うことを基本とする」とは	英語授業力向上研修（高）	11月6日

所 属 等	氏 名	講 話 の テ ー マ	研 修 事 業 名	研修日
小 野 整 形 外 科 医 院	小 野 誠	児童生徒の注意すべき疾病異常の 管理と指導 － 整形外科－	新規採用養護教諭研修	11月6日
家庭教育オピニオンリーダー 連 合 会 市 貝 支 部	松岡あゆみ	先輩オピニオンリーダーに聞く	家庭教育オピニオンリー ダー研修	11月7日
家庭教育オピニオンリーダー 連 合 会 今 市 支 部	奥村千賀子	先輩オピニオンリーダーに聞く	家庭教育オピニオンリー ダー研修	11月7日
宇 都 宮 大 学 教 育 学 部 附 属 中 学 校	星野めぐみ	本校における消費環境分野の授業	家庭、家庭分野専門研修	11月7日
茨城県立水戸第二高等学校	勝山万里子	これからの学校図書館の在り方	学校図書館研修	11月7日
(医) 引 富 会 神 田 東 ク リ ニ ッ ク	牧 由美子	教職員に対するメンタルヘルス	養護教諭10年目研修	11月10日
とちぎ総合法律事務所	小倉 崇徳	いつも心に人権感覚（センス）を	人権教育指導者専門研修	11月11日
国 士 館 大 学	北神 正行	管理職としてのリーダーシップ	教頭2年目研修	11月11日
NPO 法 人 ス ク ー ル・ アドバイス・ネットワーク	生重 幸恵	これからの「放課後子どもプラン」 に期待すること	放課後子どもプラン指導 者研修	11月14日
アサヒクッキングスクール	吉野ひろみ	調理技術の向上、家庭と連携した 食育の推進	新規採用学校栄養職員研 修	11月14日
宇都宮市冒険活動センター	駒野 拓也	仲間と共汗 体験活動	ウィークエンド青少年セ ミナー	11月15日
NPO 法 人 e- と ち ぎ	藤平 昌寿	S N S を安心安全に使用するため に～ S N S の利用をめぐる課題と その対応～	情報モラル指導者研修	12月1日
エ ン ジ ェ ル ア イ ズ	遠藤 美季	情報化社会を安心して生きるため に～大人が伝えるべきことと、子 どもたちに求められる力～	情報モラル指導者研修	12月1日
山 梨 大 学 大 学 教 育 セ ン タ ー	日永 龍彦	主幹教諭の役割	新任主幹教諭研修（小・ 中）（高・特）	12月4日
栃木県子ども総合科学館	室岡 久男	手軽に楽しめる工作遊び	ウィークエンド青少年セ ミナー	12月6日
聖 徳 大 学	吉本 恒幸	道德教育の充実と指導体制の確立 に向けて	新任道德教育推進教師等 研修	12月8日
宇 都 宮 共 和 大 学	牧野カツコ	家庭教育オピニオンリーダーへの 期待	家庭教育オピニオンリー ダー研修	12月10日
しもつけ風土記の丘資料館	進藤 敏雄	とちぎの古墳と埴輪～とちぎに栄 えた古墳文化を探る～	「とちぎの学び」広域講 座	12月12日
千 葉 大 学	星 幸 広	学校現場の危機管理	新任教頭研修（小・中）	12月12日
プ ー ル 学 院 大 学	長尾 彰夫	今、教職員に求められるもの	教職10年目研修（小・中） （高・特）	1月6日
宇 都 宮 大 学	廣瀬 隆人	地域の教育力向上のために期待さ れる役割 ～子どもを核とした地域の教育活動～	地域教育コーディネー ター養成セミナー	1月20日
宇 都 宮 市 中 央 地 域 コ ミ ュ ニ テ ィ セ ン タ ー	高橋 則子	地域の教育力向上のために期待さ れる役割 ～子どもを核とした地域の教育活 動～	地域教育コーディネー ター養成セミナー	1月20日
学びステーション鹿沼	斎藤 陽子	地域の教育力向上のために期待さ れる役割 ～子どもを核とした地域の教育活 動～	地域教育コーディネー ター養成セミナー	1月20日

所 属 等	氏 名	講 話 の テ ー マ	研 修 事 業 名	研修日
家庭教育オピニオンリーダー 連 合 会 西 那 須 野 支 部	伊吹 桂子	地域の教育力向上のために期待される役割 ～子どもを核とした地域の教育活動～	地域教育コーディネーター養成セミナー	1月20日
三 轟 唐 沢 S S C	若田部清美	地域の教育力向上のために期待される役割 ～子どもを核とした地域の教育活動～	地域教育コーディネーター養成セミナー	1月20日
十 文 字 学 園 女 子 大 学 幼 児 教 育 学 科	野口 隆子	要録の意義と役割	スキルアップセミナーⅡ	2月9日
小 山 市 立 博 物 館	小 川 聖	とちぎのかみなり ～とちぎ県民と雷様の深いつながり～	「とちぎの学び」広域講座	2月20日
下 野 新 聞 社	青木 友里	子どもの貧困を考える	社会教育主事・社会教育関係職員等実践フォーラム	2月27日
宇 都 宮 大 学	廣瀬 隆人	「これからの社会教育や生涯学習の方向性」 ～現代社会の諸問題にどうかかわるか～	社会教育主事・社会教育関係職員等実践フォーラム	2月27日
下 野 新 聞 社	青木 友里	「これからの社会教育や生涯学習の方向性」 ～現代社会の諸問題にどうかかわるか～	社会教育主事・社会教育関係職員等実践フォーラム	2月27日
特 定 非 営 利 活 動 法 人 だ い じ ょ う ぶ	前田 利一	「これからの社会教育や生涯学習の方向性」 ～現代社会の諸問題にどうかかわるか～	社会教育主事・社会教育関係職員等実践フォーラム	2月27日
栃 木 県 P T A 連 合 会	熊田 裕子	保護者や地域の期待	とちぎの教育未来塾	3月7日
北 光 ク ラ ブ	渡邊真知子	保護者や地域の期待	とちぎの教育未来塾	3月7日

平成26年度

所 報

栃木県総合教育センター

〒320-0002

宇都宮市瓦谷町1070番地

TEL 028-665-7200

FAX 028-665-7217

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>

とちぎレインボーネット（栃木県学習情報提供システム）

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/>

幼児教育センターホームページ

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/>

カリキュラムセンターホームページ

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/curriculum/rss/>

がんばろう日本!
元氣をとちぎから。



とちまるくん